

平成 30 年度
江田島市市民満足度調査について

平成 30 年 8 月
江田島市企画部企画振興課

目 次

第 1	アンケート調査の実施概要 -----	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施方法	1
4	調査日程	1
5	アンケート回収状況	1
6	集計結果の表記	1
第 2	回答者の属性 -----	2
1	性別	2
2	年齢階層	2
3	居住地	3
4	居住年数	3
5	職業等	4
6	世帯の人数（同居家族）	4
7	65 歳以上人員（同居家族）	5
8	乳児～小学生人員（同居家族）	5
第 3	江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について -----	6
1	今後の重要度と現状の満足度	6
2	江田島市や地域・地区の現状, 市の取組の評価	10
第 4	自由意見 -----	26

第1 アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

平成27年3月に策定された「第2次江田島市総合計画」では、「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」を将来像とし、それを実現するための戦略として「市民満足度の高いまちづくり」及び「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。

本アンケート調査では、この戦略に基づく江田島市の取組（事務事業）が、実際にどのような効果があるかなどを、市民の皆様の目線で検証し、より実効性のある取組としていくため、毎年度、市民満足度調査を実施し、幅広く市民の意向などを把握することを目的とします。

2 調査対象

16歳以上の江田島市民のうちから、2,000人（無作為抽出）

3 調査の実施方法

前記対象者への無記名アンケート調査方式
郵送による、調査票の配布・回収

4 調査日程

郵送配布：平成30年6月1日（金）
回収締切：平成30年6月15日（金）

5 アンケート回収状況

回収数：682票
回収率：34.1%

表 旧町別回収数及び回収率

区分	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	参考：平成29年度調査回収率（%）
江田島町	700	260	37.1	42.9
能美町	440	134	30.5	34.0
沖美町	270	78	28.9	32.5
大柿町	590	194	32.9	32.9
不明	—	16	—	—
合計	2,000	682	34.1	37.4

6 集計結果の表記

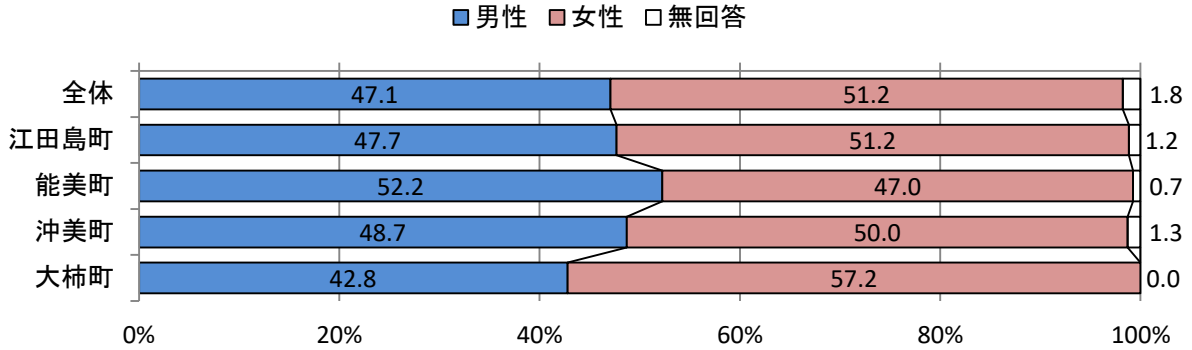
各回答の割合（%）は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、端数処理の関係から、各回答の割合（%）の合計が100%にならない場合があります。

第2 回答者の属性

1 性別

回答者の性別は、全市では「女性」が51.2%を占め、「男性」よりも4.1%多くなっています。
 居住地別にみると、大柿町の男女差14.4%を最大として「女性」が多くなる傾向にあります
 が、能美町では逆に「男性」が5.2%多くなっています。

図 性別



2 年齢階層

回答者の年齢階層は、全市では「70歳以上」が28.3%で最も多く、次いで「60歳代」が26.4%となり、60歳以上が全体の54.7%を占めています。

居住地別にみると、年齢階層に若干の違いがみられます。沖美町では、他の町と比べて「70歳以上」が34.6%と多くなっています。

住民基本台帳(平成30年3月31日時点)の16歳以上人口に占める60歳以上の割合は、55.2%となっており、今回のアンケート調査では、60歳以上の回答者が0.5%低くなっています。

図 年齢階層

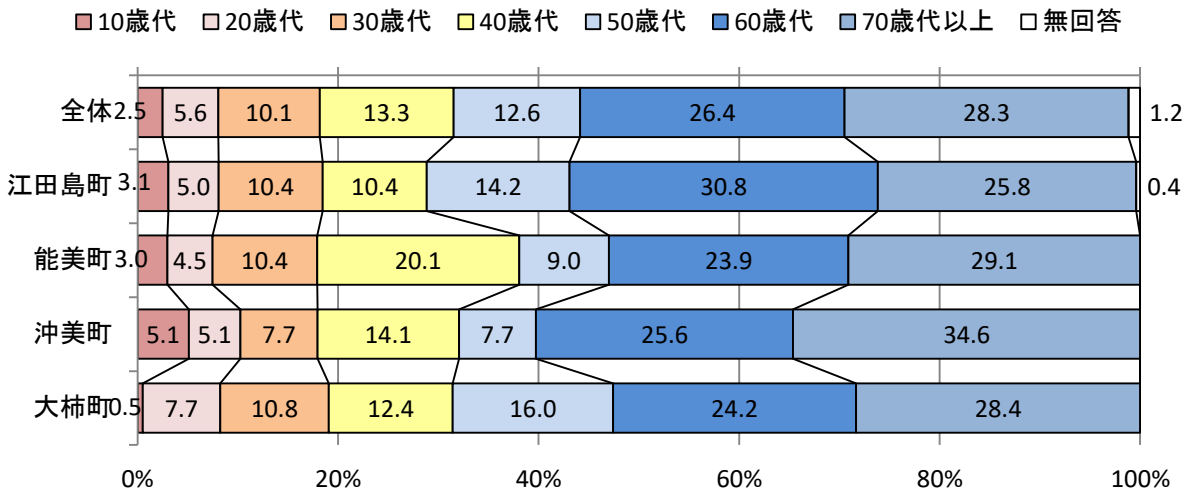


表 参考: 江田島市の年齢構成(16歳以上人口)－平成30年3月31日住民基本台帳－ 上段:人 下段:%

区分	総人口	16歳以上人口	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全市	23,593	21,508	611	1,813	2,149	2,538	2,526	4,052	7,819
	—	100.0	2.8	8.4	10.0	11.8	11.7	18.9	36.3

3 居住地

回答者の居住地をみると、「江田島町」が38.1%で最も多く、次いで「大柿町」が28.4%、「能美町」が19.6%、「沖美町」が11.4%となっています。

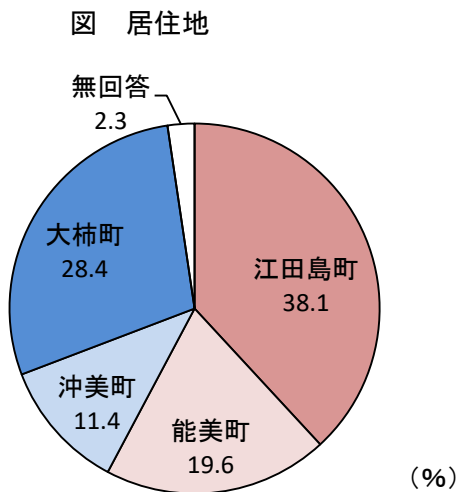


表 居住地

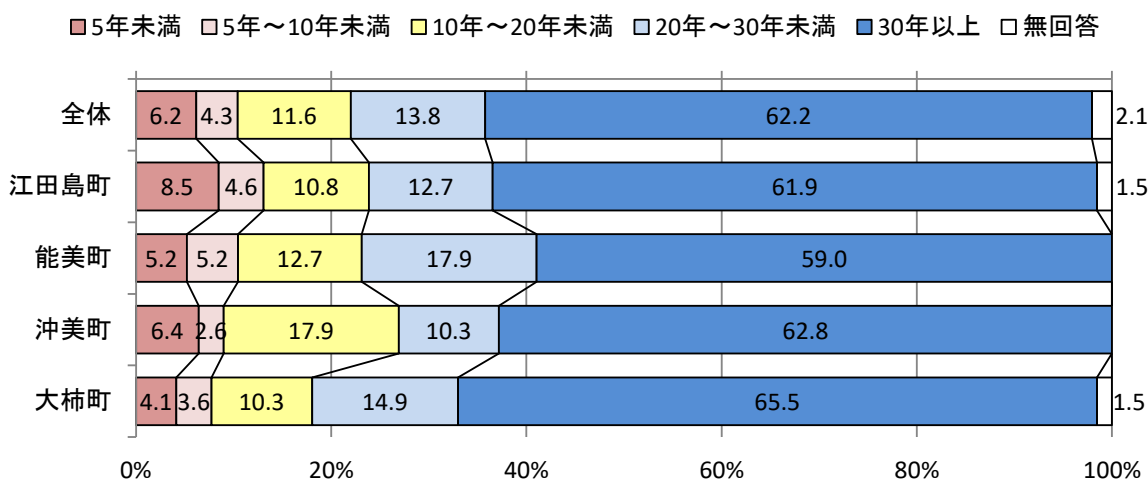
町名・地区別		回答者数	構成比
江田島町	中央（術校含む）	47	6.9
	鷲部	34	5.0
	江南	24	3.5
	秋月	16	2.3
	小用	53	7.8
	切串	55	8.1
	幸ノ浦, 大須	3	0.4
	津久茂	4	0.6
	宮ノ原	24	3.5
小計		260	38.1
能美町	高田	31	4.5
	中町	60	8.8
	鹿川	43	6.3
小計		134	19.6
沖美町	三吉	30	4.4
	高祖	8	1.2
	美能	9	1.3
	岡大王	12	1.8
	畑	8	1.2
	是長	11	1.6
小計		78	11.4
大柿町	深江	21	3.1
	小古江	11	1.6
	大原	75	11.0
	大君	20	2.9
	柿浦	29	4.3
	飛渡瀬	38	5.6
小計		194	28.4
不明		16	2.3
合計		682	100

4 居住年数

回答者の江田島市での居住年数は、「30年以上」が62.2%と半数を超えていますが、これは回答者の年齢構成との関係が強いです。

居住地別にみても、おおむね全市と同様の傾向がありますが、江田島町では「5年未満」が8.5%と他の町に比べて多くなっています。一方、沖美町では、「10年～20年未満」の割合が高くなっています。

図 居住年数

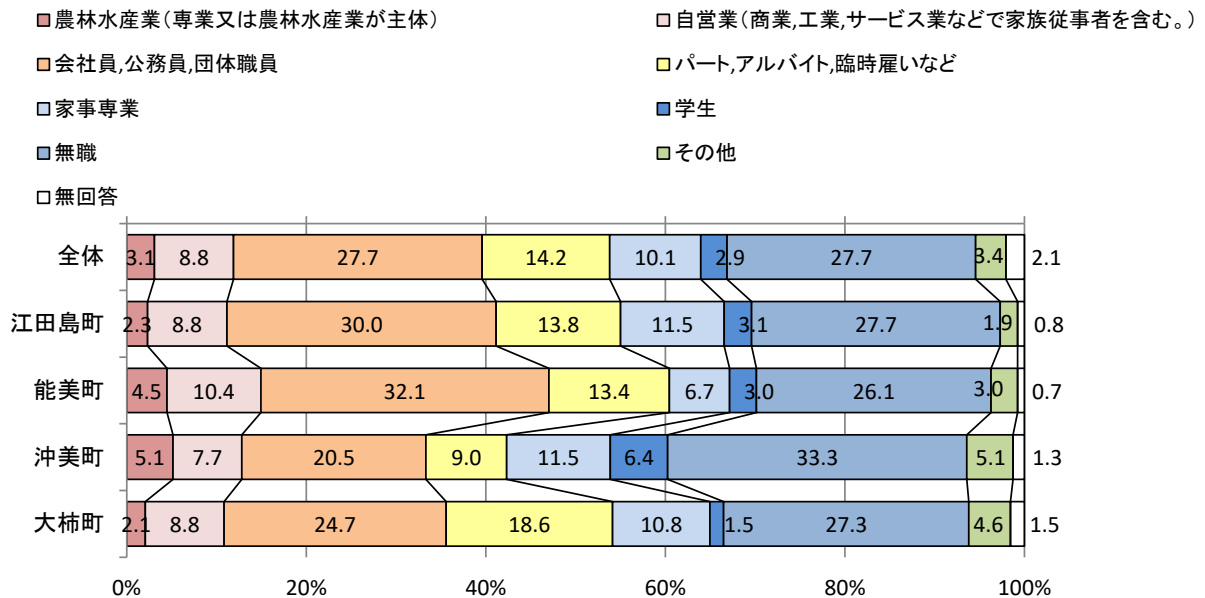


5 職業等

回答者の職業等は、全市では「会社員、公務員、団体職員」と「無職」が共に27.7%で最も多く、次いで「パート、アルバイト、臨時雇いなど」が14.2%となっています。

居住地別にみると、沖美町と能美町では「農林水産業（専業又は農林水産業が主体）」が各5.1%、4.5%となり、他町に比べて高くなっています。また、能美町では、「家事専業」が6.7%と最も低くなっています。

図 職業等

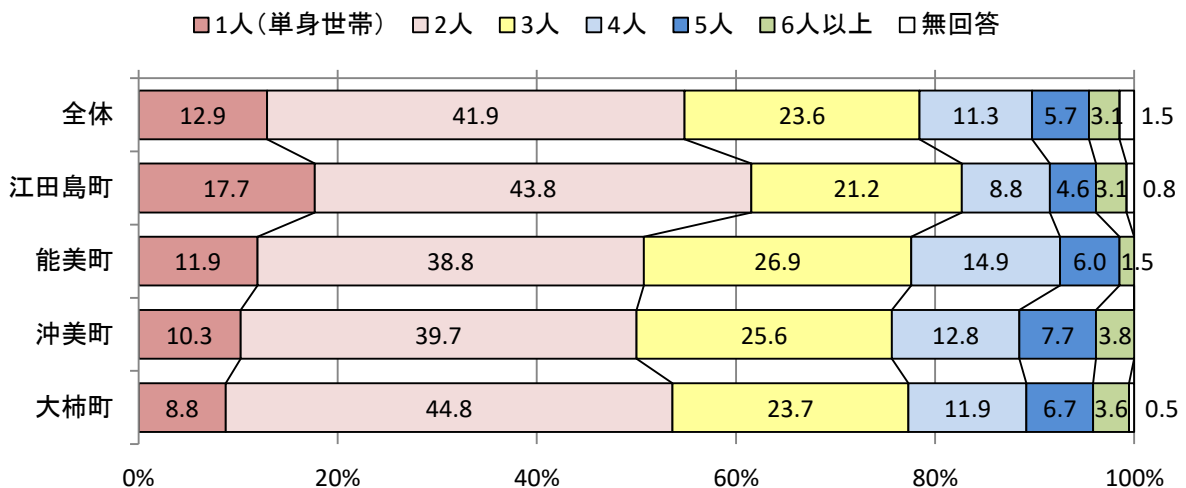


6 世帯の人数（同居家族）

回答者の家族構成は、全市では「2人」が41.9%で最も多く、次いで「3人」が23.6%、「1人（単身世帯）」が12.9%などとなっています。

居住地別にみると、江田島町では「1人（単身世帯）」が17.7%と他の町に比べて多くなっています。

図 世帯の人数

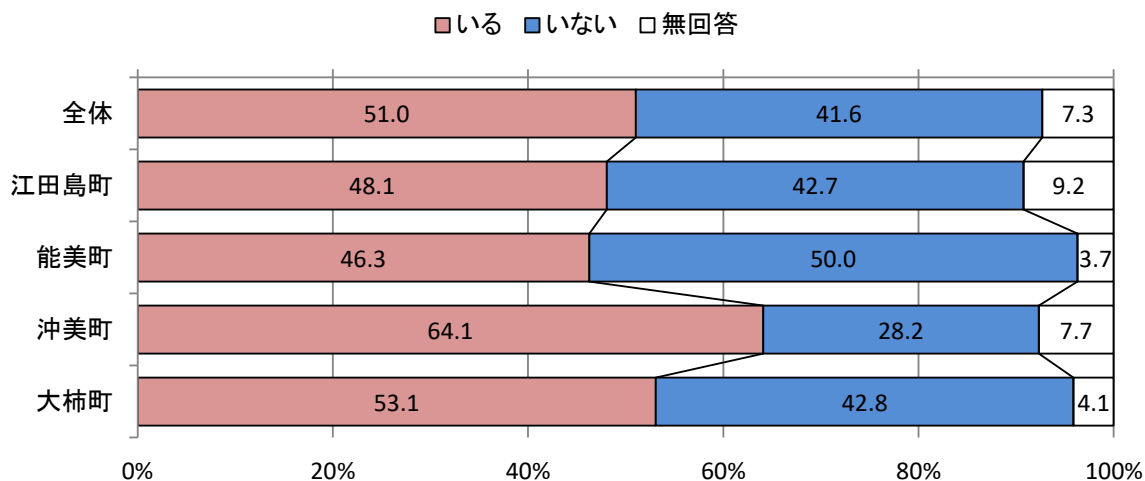


7 65歳以上人員（同居家族）

同居している家族に65歳以上の方がいるかについては、全市では「いる」が51.0%となり、「いない」に比べて9.4%多くなっています。

居住地別にみると、沖美町では「いる」が64.1%と最も多くなっています。

図 65歳以上人員（同居家族）の有無

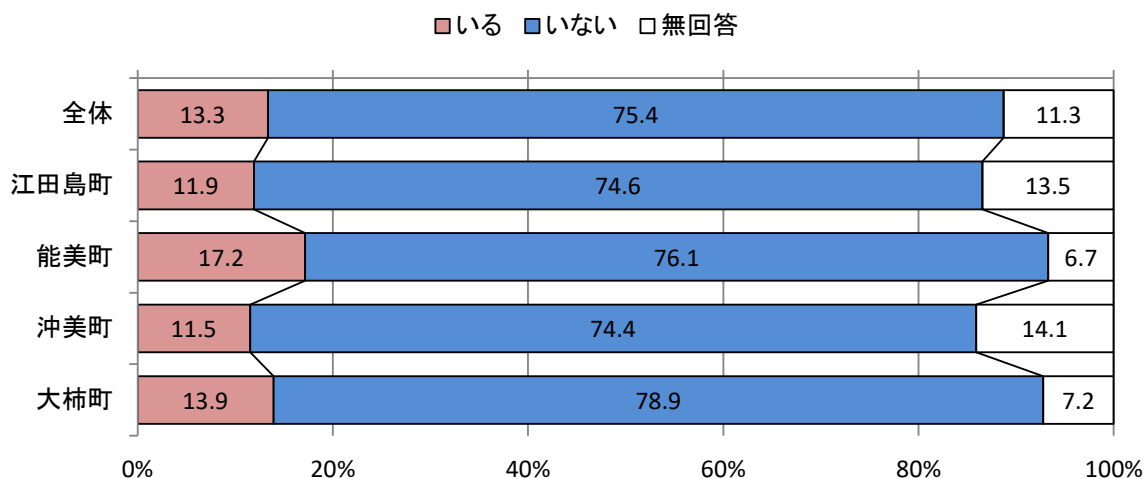


8 乳児～小学生人員（同居家族）

同居している家族に乳児～小学生の方がいるかについては、全市では「いる」が13.3%となっています。

居住地別では、能美町が17.2%、大柿町が13.9%と高くなっています。

図 乳児～小学生人員（同居家族）の有無



第3 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について

1 今後の重要度と現状の満足度

問2 あなたは,江田島市などが行っている主要な取組それぞれについて,今後の取組における重要度(重点度)と,現在の状況に対する満足度を,どのように思われますか。
(○印はそれぞれ1つ)

江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について, 今後の重要度と現状の満足度の高い項目順にまとめました(7頁)。

今後の重要度(「特に重要」又は「重要」と答えた割合)が高いのは, 教育・文化の「学校教育の内容(小中学校)」82.3%, 福祉・保健の「医療機関の充実」81.8%, 安全・安心の「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」79.9%などとなっています。

その他で70%を超えている項目は, 教育・文化の「学校と地域・家庭との信頼関係」, 安全・安心の「救急体制の充実・強化」, 「避難所などの整備」, 福祉・保健の「介護サービスの充実」, 産業・観光の「宿泊・観光施設の整備」及び福祉・保健の「高齢者福祉・介護施設の整備」です。

一方, 重要度が低いのは, 地域の「国際化・多文化共生の推進」32.6%, 「都市との交流の促進」36.8%, 生活・環境の「男女共同参画の推進」39.2%などとなっています。

現状の状況に対する満足度(「とても満足」又は「満足」と答えた割合)が高いのは, 教育・文化の「学校施設の整備」17.5%, 基盤の「上水道の整備」17.4%, 教育・文化の「学校教育の内容(小中学校)」16.6%, 福祉・保健の「保育園・児童館などの整備」15.7%, 安全・安心の「救急体制の充実・強化」14.6%, 全般・その他の「市役所・市民センターの窓口対応」14.2%などとなっています。

その他で10%を超えている項目は, 生活・環境の「ゴミ対策・リサイクルの推進」, 教育・文化の「学校と地域・家庭との信頼関係」, 基盤の「港湾・漁港の整備」, 「下水道の整備」, 安全・安心の「消防体制の充実・強化」, 教育・文化の「生涯学習活動の支援」, 「公民館など社会教育施設の整備」, 「伝統文化・文化財の保護」, 地域の「都市との交流の促進」, 福祉・保健の「介護サービスの充実」, 安全・安心の「火災予防の推進」, 教育・文化の「スポーツ・レクリエーションの普及・振興」及び福祉・保健の「子育て支援サービスの充実」です。

一方, 満足度が低いのは, 産業・観光の「創業・起業への支援」3.2%, 「企業誘致の推進」3.4%, 「宿泊・観光施設の整備」3.8%などとなっています。

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)

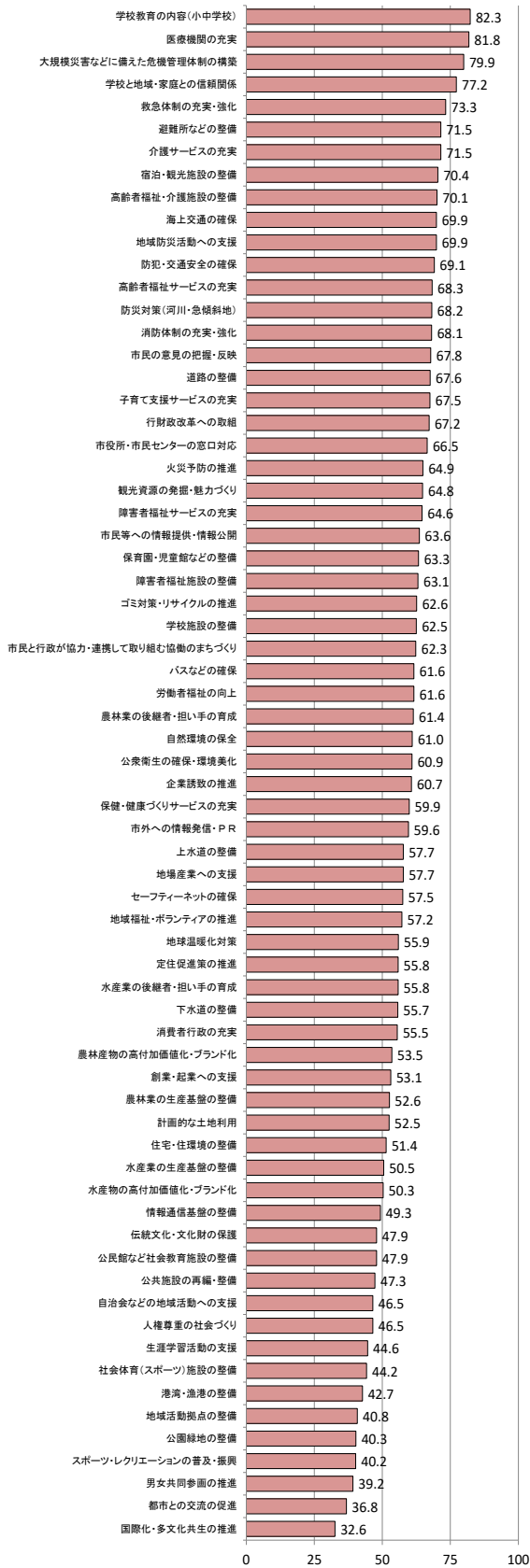
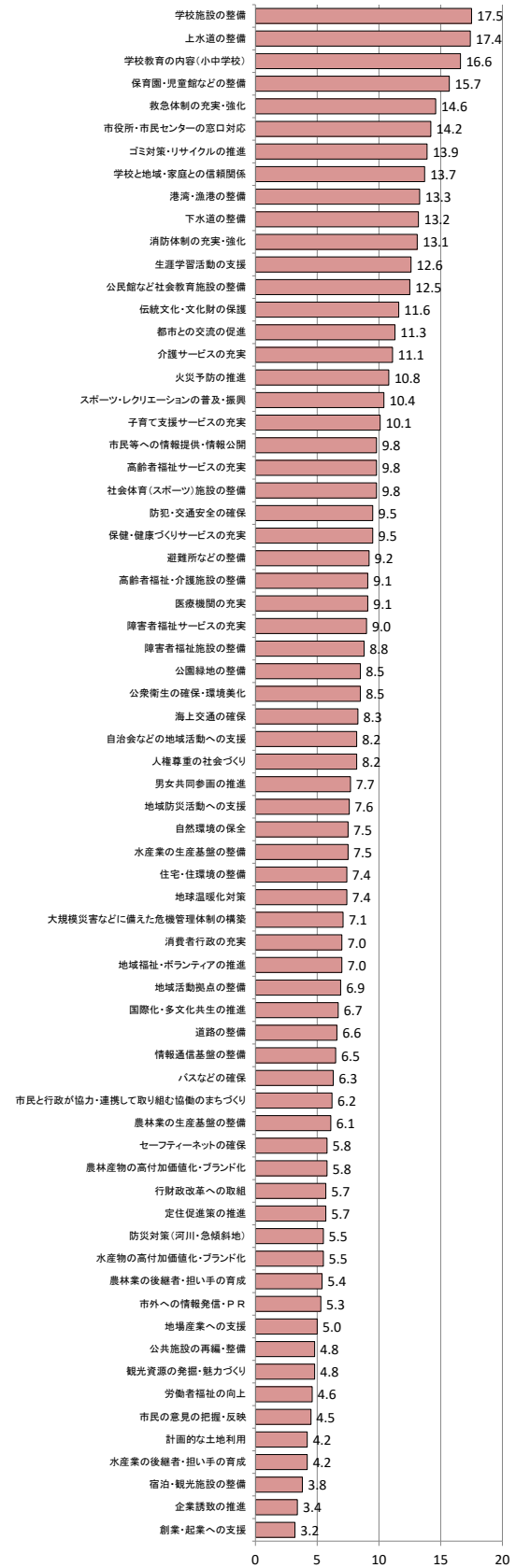
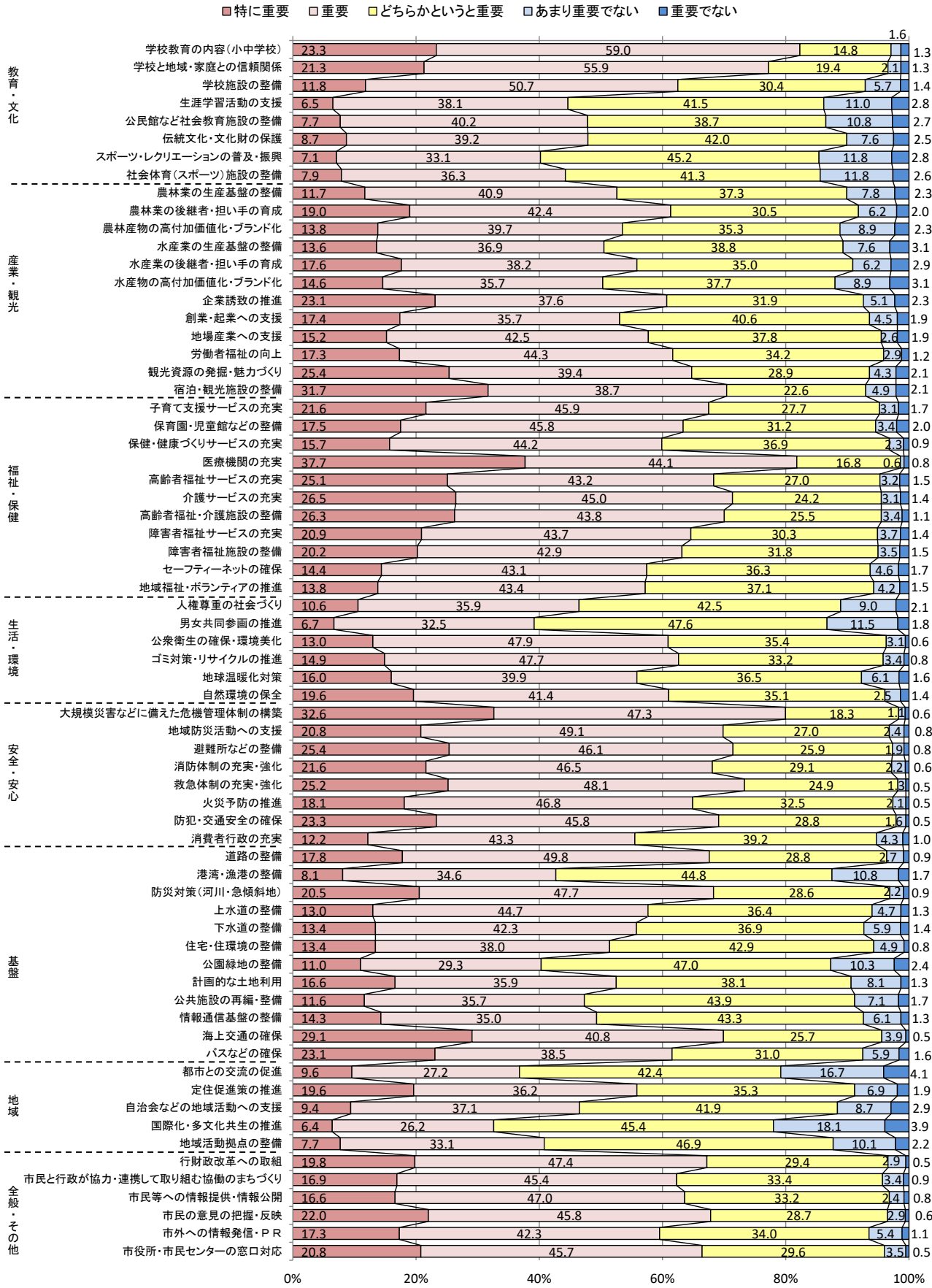


図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現状の満足度 (とても満足+満足)



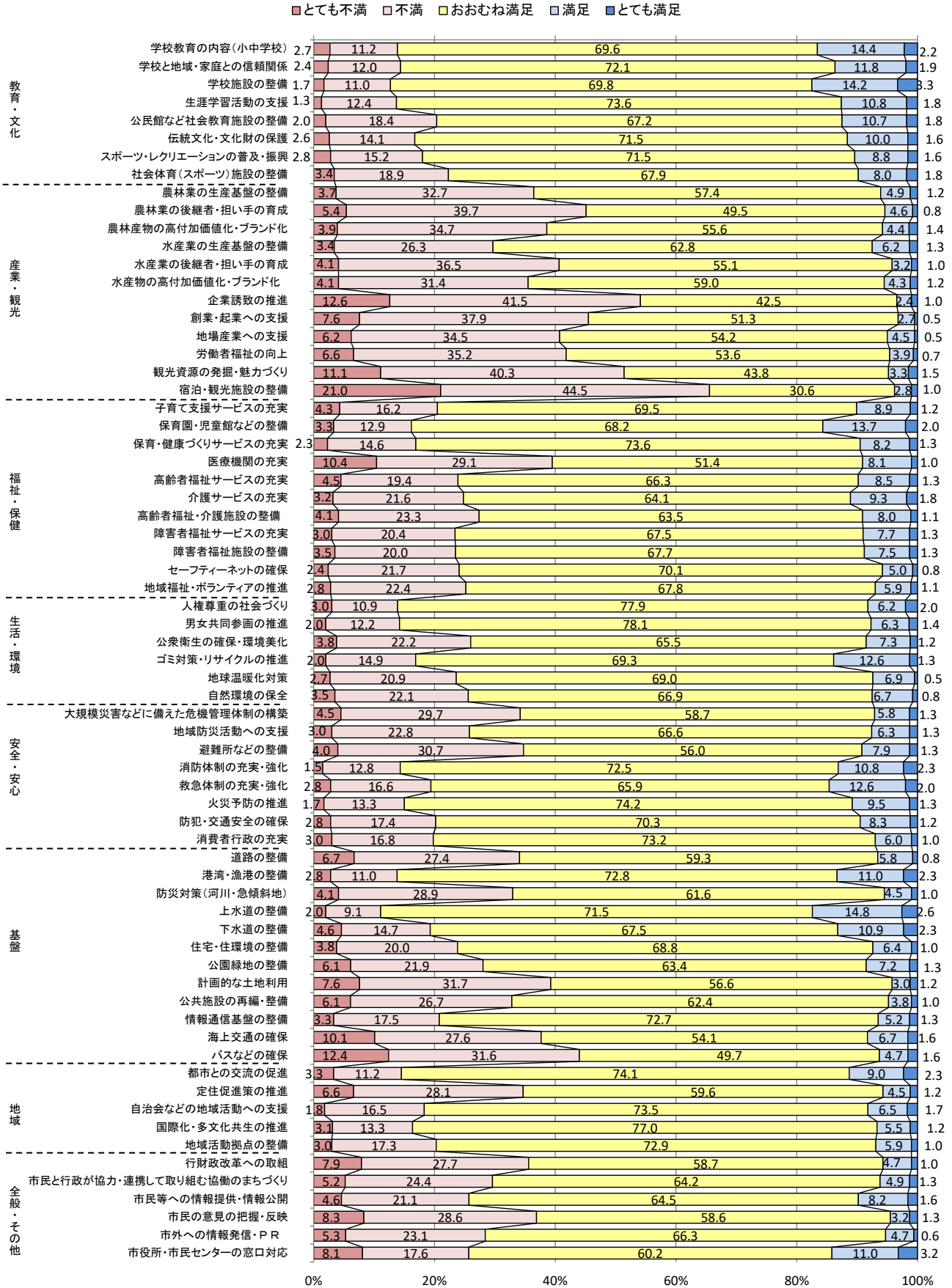
注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状,市の取組についての今後の重要度・・・部門別



注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組についての現状の満足度・・・部門別



注：無回答を除く割合

2 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組の評価

ここでは, 市民アンケート調査により, 重要度(市民重要度)と満足度(市民満足度)について, 測定可能な定量(数値:ポイント・点)を算出することで, 部門別, 項目別の評価を行います。

回答1件当たりに次のとおり配点し, その合計値÷有効回答数を「ポイント・点」とします。

注: 無回答の調査票はポイント算出の対象としない

重要度ポイント (市民重要度)	特に重要	100点
	重要	80点
	どちらかという重要	60点
	あまり重要でない	40点
	重要でない	20点

満足度ポイント (市民満足度)	とても満足	100点
	満足	80点
	おおむね満足	60点
	不満	40点
	とても不満	20点

(1) 重要度ポイント, 満足度ポイント

江田島市や地域・地区の現状, 市の取組における重要度ポイントとしては, 「医療機関の充実」が83.5点と最も高くなっています。

それに次いで「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」82.0点, 「学校教育の内容(小中学校)」80.3点, 「救急体制の充実・強化」79.3点までが79点を超えています。

一方で, 「国際化・多文化共生の推進」が62.6点で最も低く, 次いで「都市との交流の促進」が64.3点, 「スポーツ・レクリエーションの普及・振興」が66.0点などとなっています。

江田島市や地域・地区の現状, 市の取組における満足度ポイントとしては, 「上水道の整備」が61.4点で最も高く, 次いで「学校施設の整備」が61.3点, 「学校教育の内容(小中学校)」が60.4点となり, これら3項目が60点を超えています。

その他では, 「生涯学習活動の支援」59.9点, 「消防体制の充実・強化」59.9点, 「学校と地域・家庭との信頼関係」59.8点, 「港湾・漁港の整備」59.8点, 「保育園・児童館などの整備」59.6点, 「ゴミ対策・リサイクルの推進」59.3点, 「都市との交流の促進」59.2点, 「火災予防の推進」59.1点となり, これら8項目が59点を超えています。

一方で, 「宿泊・観光施設の整備」が43.6点で最も低く, 次いで「企業誘致の推進」47.5点, 「観光資源の発掘・魅力づくり」48.8点が50点未満となり, いずれも産業・観光に関する部門で低くなっています。

図 江田島市における重要度ポイント

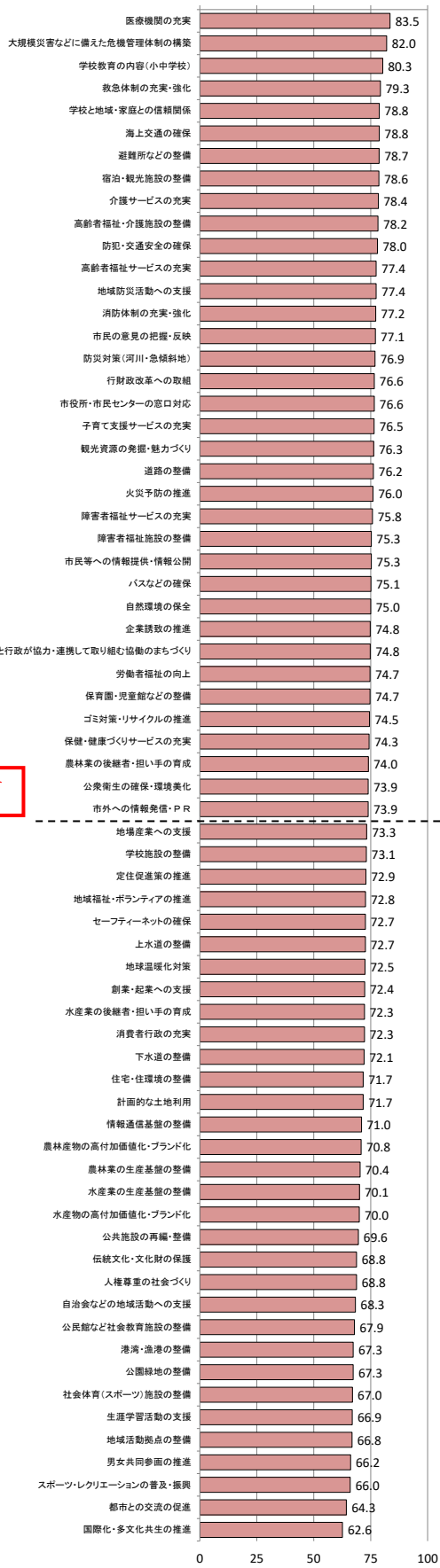
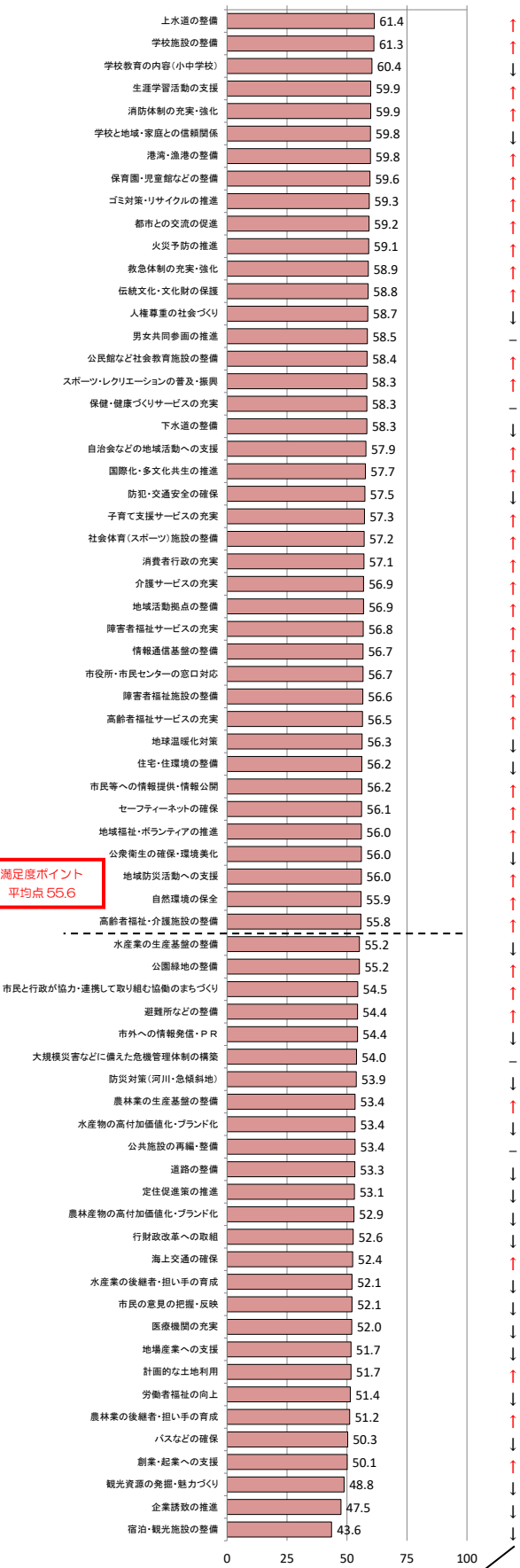
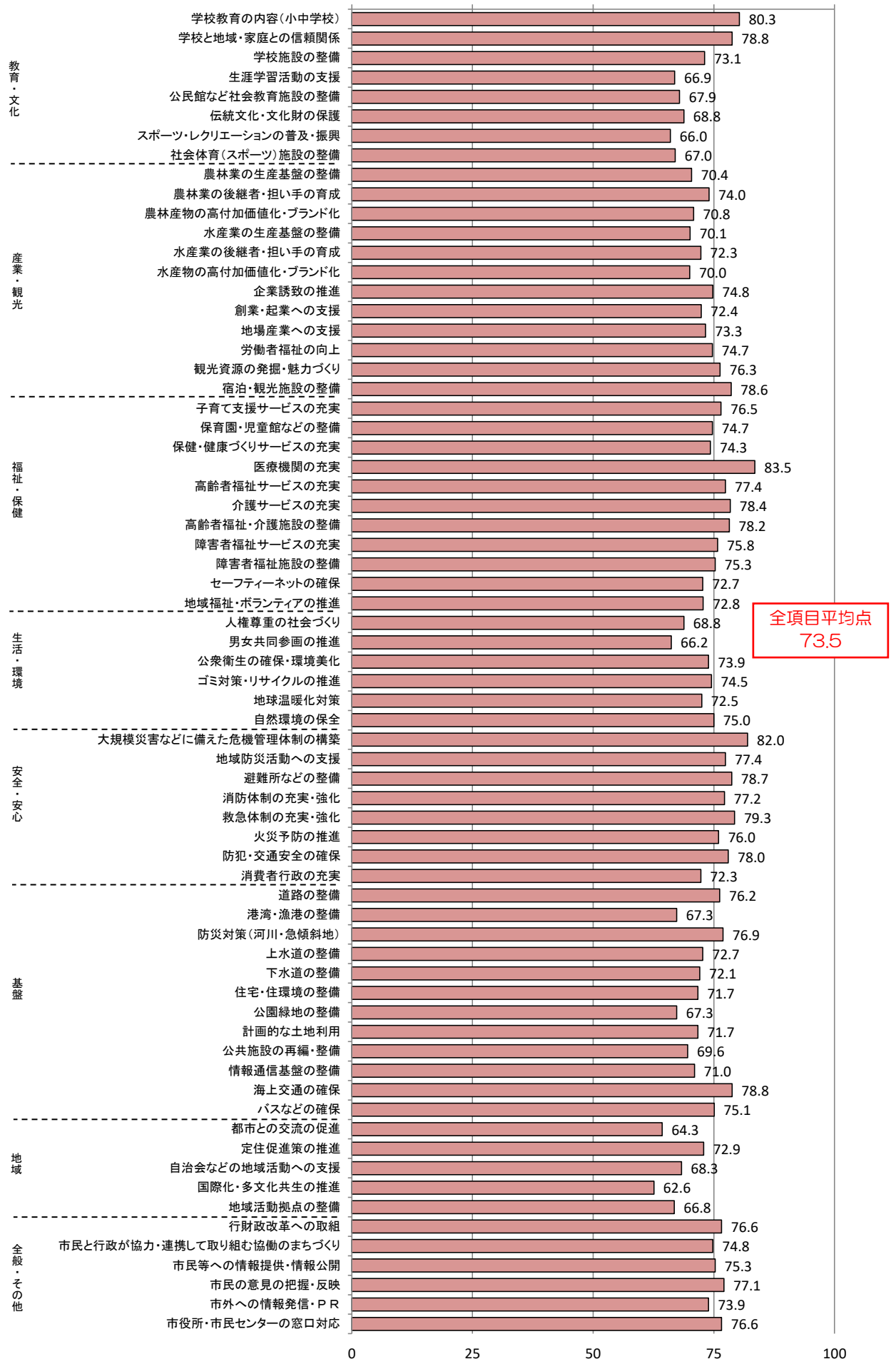


図 江田島市における満足度ポイント

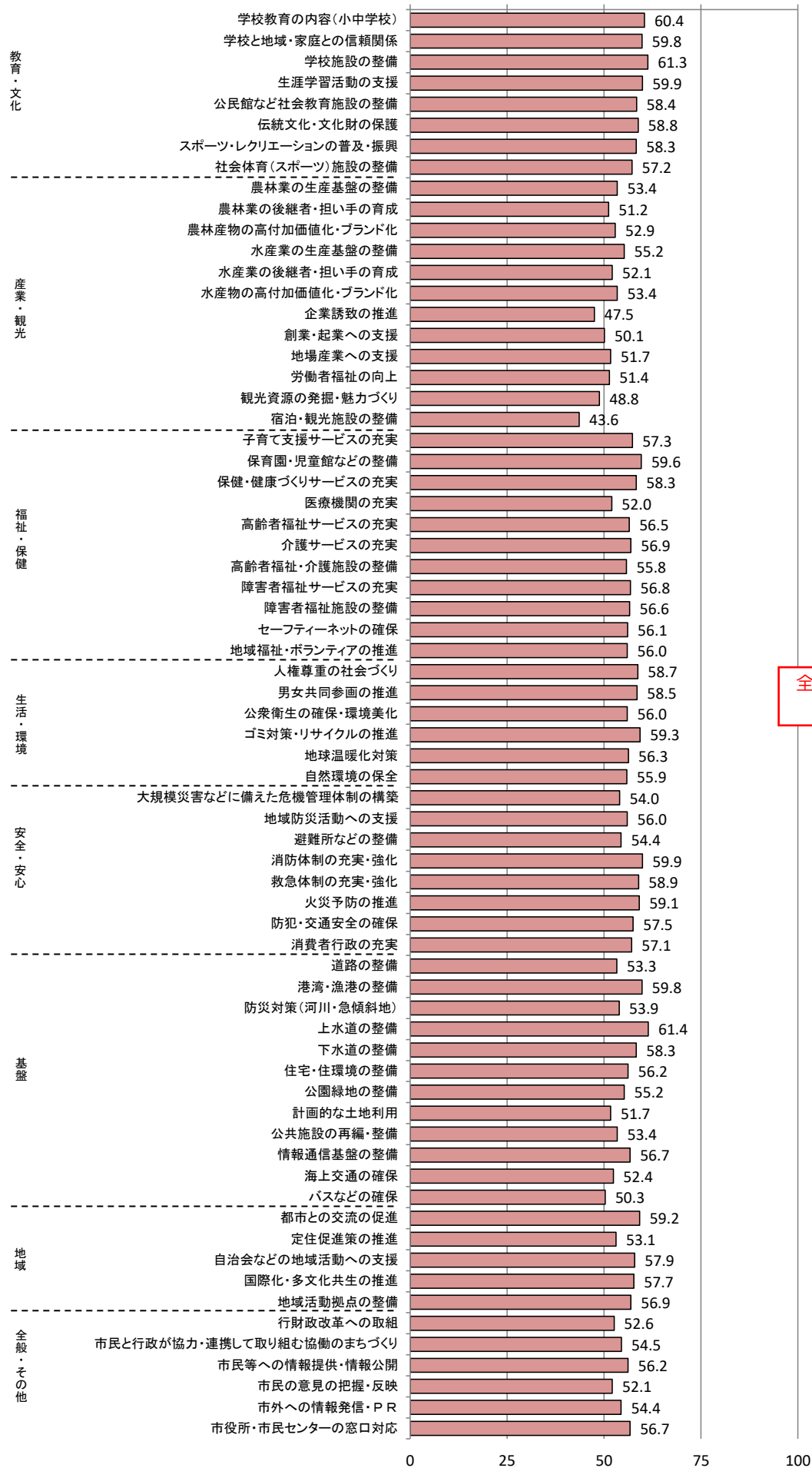


昨年度調査との比較(増減状況)

参考図 江田島市における重要度ポイント（市民重要度）・・・部門別



参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



全項目平均点
55.6

重要度ポイント、満足度ポイントを前回調査（平成29年度）と比較すると、重要度ポイントが増加したものは、「防犯・交通安全の確保」2.5点、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」2.3点、「防災対策（河川・急傾斜地）」2.2点、「住宅・住環境の整備」2.1点、「道路の整備」1.8点など、安全・安心部門及び基盤の部門に集中しています。

一方、重要度ポイントが減少したものは、「水産業の後継者・担い手の育成」▲1.4点、「スポーツ・レクリエーションの普及・振興」▲1.2点、「水産物の高付加価値化・ブランド化」▲1.1点、「公共施設の再編・整備」▲0.9点、「保育園・児童館などの整備」▲0.9点などとなっています。

表 重要度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	平成29年	平成30年
1	安全・安心	防犯・交通安全の確保	2.5	75.5	78.0
2	安全・安心	大規模災害などに備えた危機管理体制の構築	2.3	79.7	82.0
3	基盤	防災対策（河川・急傾斜地）	2.2	74.7	76.9
4	基盤	住宅・住環境の整備	2.1	69.6	71.7
5	基盤	道路の整備	1.8	74.4	76.2
64	福祉・保健	保育園・児童館などの整備	▲0.9	75.6	74.7
	基盤	公共施設の再編・整備	▲0.9	70.5	69.6
66	産業・観光	水産物の高付加価値化・ブランド化	▲1.1	71.1	70.0
67	教育・文化	スポーツ・レクリエーションの普及・振興	▲1.2	67.2	66.0
68	産業・観光	水産業の後継者・担い手の育成	▲1.4	73.7	72.3

満足度ポイントが増加したものは、「保育園・児童館などの整備」1.4点、「自治会などの地域活動への支援」1.4点、「創業・起業への支援」1.1点、「公民館など社会教育施設の整備」1.0点、「港湾・漁港の整備」1.0点、「国際化・多文化共生の推進」1.0点などとなっています。

一方、重要度ポイントが減少したものは、「行財政改革への取組」▲1.3点、「企業誘致の推進」▲1.2点、「観光資源の発掘・魅力づくり」▲0.9点、「住宅・住環境の整備」▲0.8点、「防犯・交通安全の確保」▲0.8点、「農林産物の高付加価値化・ブランド化」▲0.8点などとなっています。

表 満足度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	平成29年	平成30年
1	福祉・保健	保育園・児童館などの整備	1.4	58.2	59.6
	地域	自治会などの地域活動への支援	1.4	56.5	57.9
3	産業・観光	創業・起業への支援	1.1	49.0	50.1
4	教育・文化	公民館など社会教育施設の整備	1.0	57.4	58.4
	基盤	港湾・漁港の整備	1.0	58.8	59.8
	地域	国際化・多文化共生の推進	1.0	56.7	57.7
63	産業・観光	農林産物の高付加価値化・ブランド化	▲0.8	53.7	52.9
	安全・安心	防犯・交通安全の確保	▲0.8	58.3	57.5
	基盤	住宅・住環境の整備	▲0.8	57.0	56.2
66	産業・観光	観光資源の発掘・魅力づくり	▲0.9	49.7	48.8
67	産業・観光	企業誘致の推進	▲1.2	48.7	47.5
68	全般・その他	行財政改革への取組	▲1.3	53.9	52.6

表 市民満足度調査（平成29年度, 30年度）による重要度ポイント, 満足度ポイントの変化状況

部門	項目(設問)		平成29年度	平成30年度	変化量	平成29年度	平成30年度	変化量
			重要度 ポイント	重要度 ポイント		満足度 ポイント	満足度 ポイント	
教育・文化	問2-1	学校教育の内容(小中学校)	79.7	80.3	0.6	60.5	60.4	▲0.1
	問2-2	学校と地域・家庭との信頼関係	79.0	78.8	▲0.2	59.9	59.8	▲0.1
	問2-3	学校施設の整備	73.4	73.1	▲0.3	61.2	61.3	0.1
	問2-4	生涯学習活動の支援	67.1	66.9	▲0.2	59.3	59.9	0.6
	問2-5	公民館など社会教育施設の整備	67.8	67.9	0.1	57.4	58.4	1.0
	問2-6	伝統文化・文化財の保護	69.0	68.8	▲0.2	57.9	58.8	0.9
	問2-7	スポーツ・レクリエーションの普及・振興	67.2	66.0	▲1.2	57.6	58.3	0.7
	問2-8	社会体育(スポーツ)施設の整備	66.6	67.0	0.4	56.8	57.2	0.4
産業・観光	問2-9	農林業の生産基盤の整備	70.3	70.4	0.1	53.1	53.4	0.3
	問2-10	農林業の後継者・担い手の育成	74.0	74.0	0.0	51.1	51.2	0.1
	問2-11	農林産物の高付加価値化・ブランド化	70.6	70.8	0.2	53.7	52.9	▲0.8
	問2-12	水産業の生産基盤の整備	70.4	70.1	▲0.3	55.6	55.2	▲0.4
	問2-13	水産業の後継者・担い手の育成	73.7	72.3	▲1.4	52.4	52.1	▲0.3
	問2-14	水産物の高付加価値化・ブランド化	71.1	70.0	▲1.1	53.5	53.4	▲0.1
	問2-15	企業誘致の推進	73.4	74.8	1.4	48.7	47.5	▲1.2
	問2-16	創業・起業への支援	73.0	72.4	▲0.6	49.0	50.1	1.1
	問2-17	地場産業への支援	73.2	73.3	0.1	52.3	51.7	▲0.6
	問2-18	労働者福祉の向上	74.7	74.7	0.0	51.9	51.4	▲0.5
	問2-19	観光資源の発掘・魅力づくり	76.4	76.3	▲0.1	49.7	48.8	▲0.9
福祉・保健	問2-20	宿泊・観光施設の整備	79.4	78.6	▲0.8	44.2	43.6	▲0.6
	問2-21	子育て支援サービスの充実	76.5	76.5	0.0	57.0	57.3	0.3
	問2-22	保育園・児童館などの整備	75.6	74.7	▲0.9	58.2	59.6	1.4
	問2-23	保健・健康づくりサービスの充実	74.5	74.3	▲0.2	58.3	58.3	0.0
	問2-24	医療機関の充実	82.2	83.5	1.3	52.7	52.0	▲0.7
	問2-25	高齢者福祉サービスの充実	77.4	77.4	0.0	56.1	56.5	0.4
	問2-26	介護サービスの充実	77.5	78.4	0.9	56.1	56.9	0.8
	問2-27	高齢者福祉・介護施設の整備	77.8	78.2	0.4	55.1	55.8	0.7
	問2-28	障害者福祉サービスの充実	75.5	75.8	0.3	56.0	56.8	0.8
	問2-29	障害者福祉施設の整備	75.1	75.3	0.2	55.8	56.6	0.8
	問2-30	セーフティネットの確保	73.5	72.7	▲0.8	55.6	56.1	0.5
生活・環境	問2-31	地域福祉・ボランティアの推進	72.7	72.8	0.1	55.7	56.0	0.3
	問2-32	人権尊重の社会づくり	67.9	68.8	0.9	59.0	58.7	▲0.3
	問2-33	男女共同参画の推進	65.5	66.2	0.7	58.5	58.5	0.0
	問2-34	公衆衛生の確保・環境美化	72.4	73.9	1.5	56.3	56.0	▲0.3
	問2-35	ゴミ対策・リサイクルの推進	73.1	74.5	1.4	58.6	59.3	0.7
	問2-36	地球温暖化対策	71.9	72.5	0.6	56.5	56.3	▲0.2
	問2-37	自然環境の保全	74.2	75.0	0.8	55.5	55.9	0.4
安全・安心	問2-38	大規模災害などに備えた危機管理体制の構築	79.7	82.0	2.3	54.0	54.0	0.0
	問2-39	地域防災活動への支援	76.1	77.4	1.3	55.9	56.0	0.1
	問2-40	避難所などの整備	77.7	78.7	1.0	53.9	54.4	0.5
	問2-41	消防体制の充実・強化	76.2	77.2	1.0	59.3	59.9	0.6
	問2-42	救急体制の充実・強化	78.3	79.3	1.0	58.8	58.9	0.1
	問2-43	火災予防の推進	74.3	76.0	1.7	58.9	59.1	0.2
	問2-44	防犯・交通安全の確保	75.5	78.0	2.5	58.3	57.5	▲0.8
	問2-45	消費者行政の充実	71.2	72.3	1.1	57.0	57.1	0.1
基盤	問2-46	道路の整備	74.4	76.2	1.8	53.5	53.3	▲0.2
	問2-47	港湾・漁港の整備	67.5	67.3	▲0.2	58.8	59.8	1.0
	問2-48	防災対策(河川・急傾斜地)	74.7	76.9	2.2	54.6	53.9	▲0.7
	問2-49	上水道の整備	72.0	72.7	0.7	61.3	61.4	0.1
	問2-50	下水道の整備	71.3	72.1	0.8	58.5	58.3	▲0.2
	問2-51	住宅・住環境の整備	69.6	71.7	2.1	57.0	56.2	▲0.8
	問2-52	公園緑地の整備	67.0	67.3	0.3	54.5	55.2	0.7
	問2-53	計画的な土地利用	70.5	71.7	1.2	51.2	51.7	0.5
地域	問2-54	公共施設の再編・整備	70.5	69.6	▲0.9	53.4	53.4	0.0
	問2-55	情報通信基盤の整備	70.8	71.0	0.2	56.3	56.7	0.4
	問2-56	海上交通の確保	78.8	78.8	0.0	52.0	52.4	0.4
	問2-57	バスなどの確保	75.0	75.1	0.1	50.5	50.3	▲0.2
	問2-58	都市との交流の促進	64.9	64.3	▲0.6	58.4	59.2	0.8
	問2-59	定住促進策の推進	72.2	72.9	0.7	53.7	53.1	▲0.6
	問2-60	自治会などの地域活動への支援	68.1	68.3	0.2	56.5	57.9	1.4
	問2-61	国際化・多文化共生の推進	63.4	62.6	▲0.8	56.7	57.7	1.0
全般・その他	問2-62	地域活動拠点の整備	66.8	66.8	0.0	56.3	56.9	0.6
	問2-63	行財政改革への取組	75.5	76.6	1.1	53.9	52.6	▲1.3
	問2-64	市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり	74.0	74.8	0.8	54.2	54.5	0.3
	問2-65	市民等への情報提供・情報公開	75.4	75.3	▲0.1	55.5	56.2	0.7
	問2-66	市民の意見の把握・反映	76.1	77.1	1.0	52.5	52.1	▲0.4
	問2-67	市外への情報発信・PR	73.0	73.9	0.9	55.1	54.4	▲0.7
	問2-68	市役所・市民センターの窓口対応	76.4	76.6	0.2	55.9	56.7	0.8

(2) 部門ごとでの重要度ポイント, 満足度ポイントの状況

重要度ポイントについて部門ごとにみると、「安全・安心」が77.6点で最も高く、次いで「福祉・保健」76.3点、「全般・その他」75.7点となり、これら3部門が項目ごとの平均値(73.1点)を上回っています。

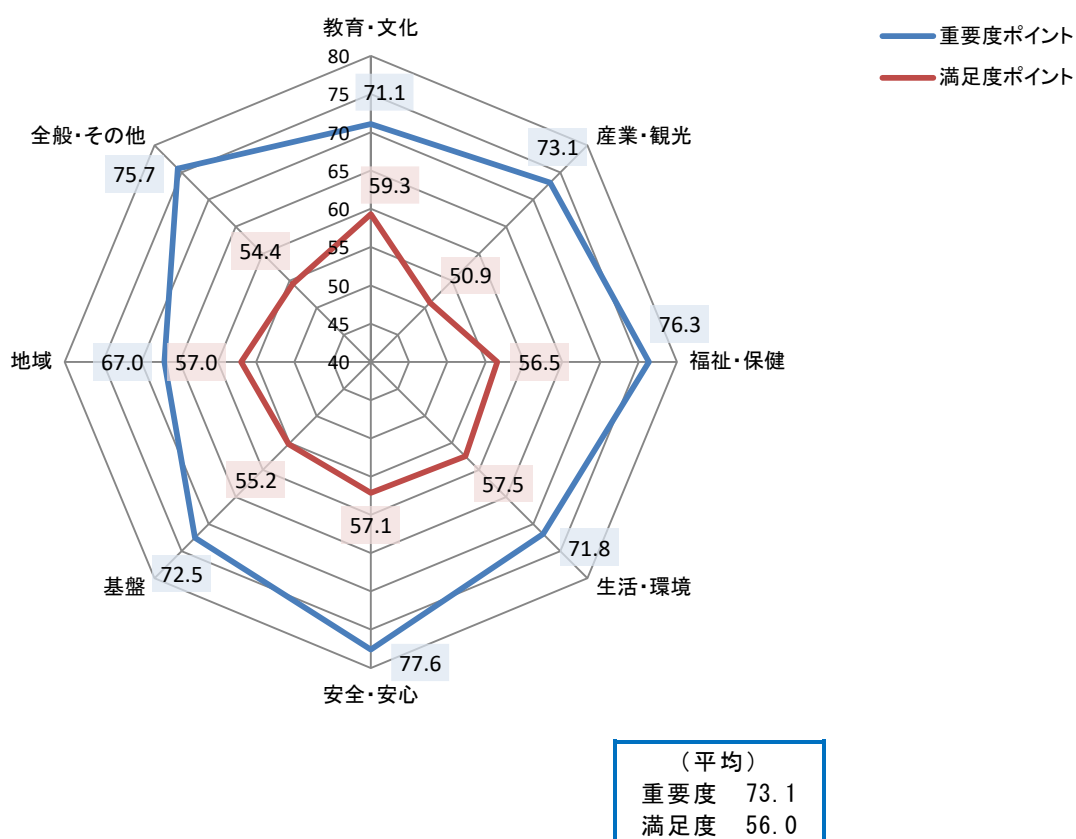
満足度ポイントについては、「教育・文化」が59.3点で最も高く、次いで「生活・環境」57.5点などとなっています。

重要度ポイントと満足度ポイントの両方が平均値を上回っている部門は、「福祉・保健」と「安全・安心」であり、現状の満足度が高く、今後においても市民が重要であると捉えているといえます。逆に両方が平均値を下回っている部門は、「産業・観光」と「基盤」となっています。

一方、満足度が平均値より低く重要度が平均値より高い「全般・その他」については、今後伸ばしていくべき部門として捉えられていると考えられます。

また、居住地区別(次頁参照)にみても、概ね同様の傾向となっています。

図 部門別の重要度ポイント, 満足度ポイント



参考：居住地別部門別ポイント状況

図 江田島町

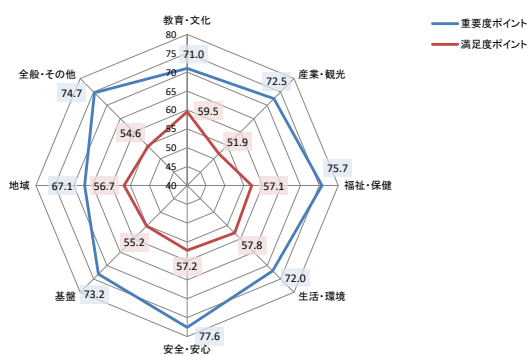


図 能美町

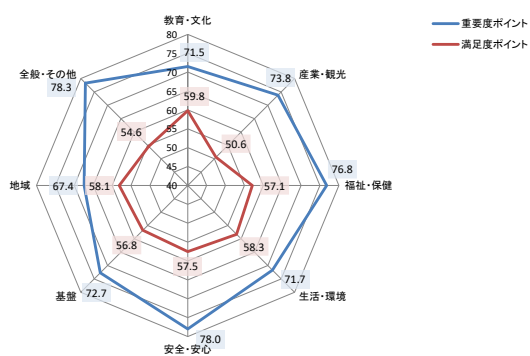


図 沖美町

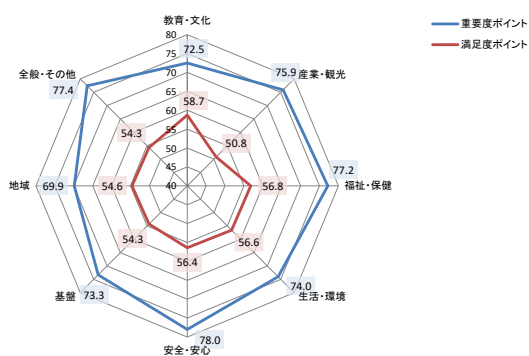
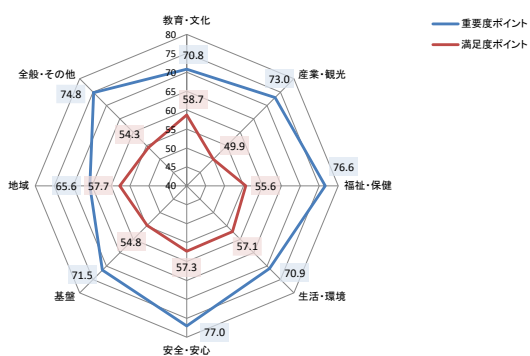


図 大柿町



(3) 部門別の重要度ポイント, 満足度ポイントの状況

ア 教育・文化

教育・文化部門の項目別にみると、「学校教育の内容（小中学校）」、「学校と地域・家庭との信頼関係」については、満足度ポイントと同様に、重要度ポイントがそれぞれ80.3点, 78.8点と非常に高く、今後も重要であると捉えられていると言えます。

図 教育・文化部門のポイント状況

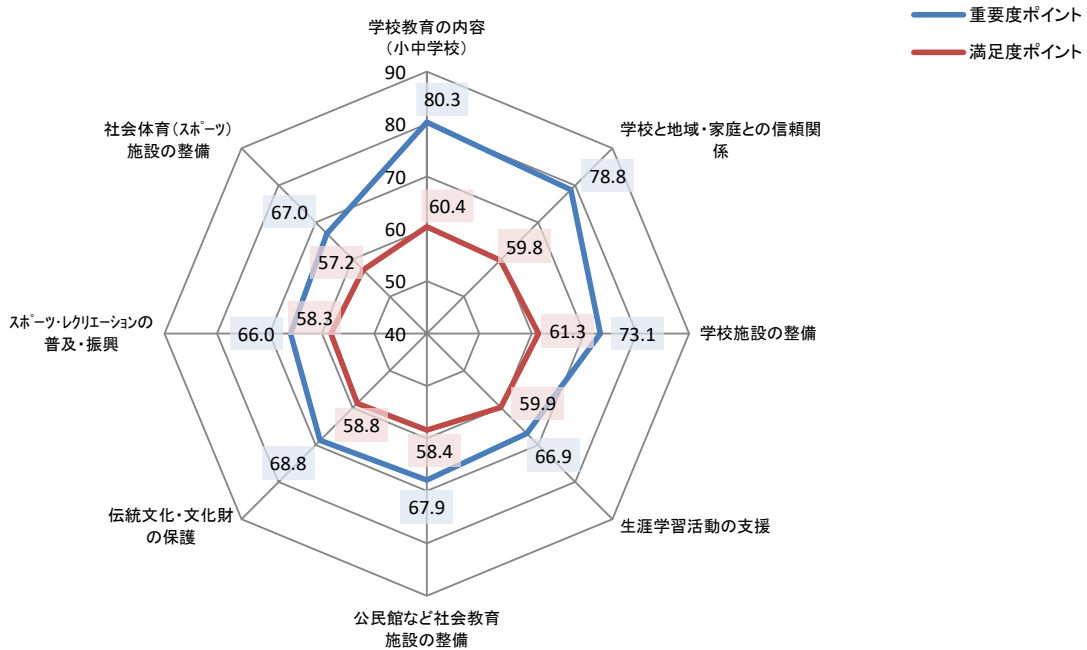


図 江田島町

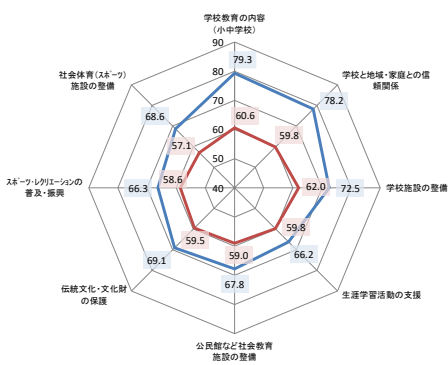


図 能美町

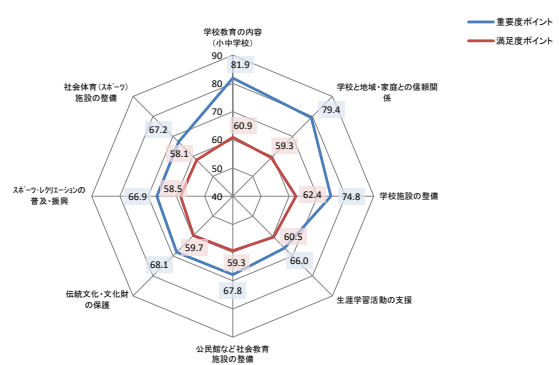


図 沖美町

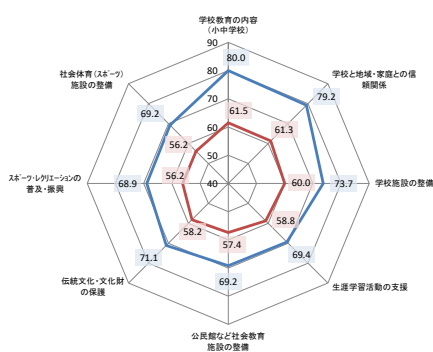
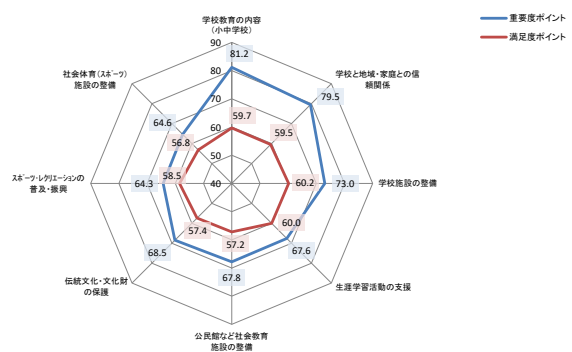


図 大柿町



イ 産業・観光

産業・観光部門の項目別にみると、全体的に満足度ポイントが低くなっており、重要度ポイントとの乖離が大きくなっています。特に乖離が25点を超える「宿泊・観光施設の整備」、「観光資源の発掘・魅力づくり」及び「企業誘致の推進」については、市民が現状に対して特に重要な項目として考えていることが示されています。

図 産業・観光部門のポイント状況

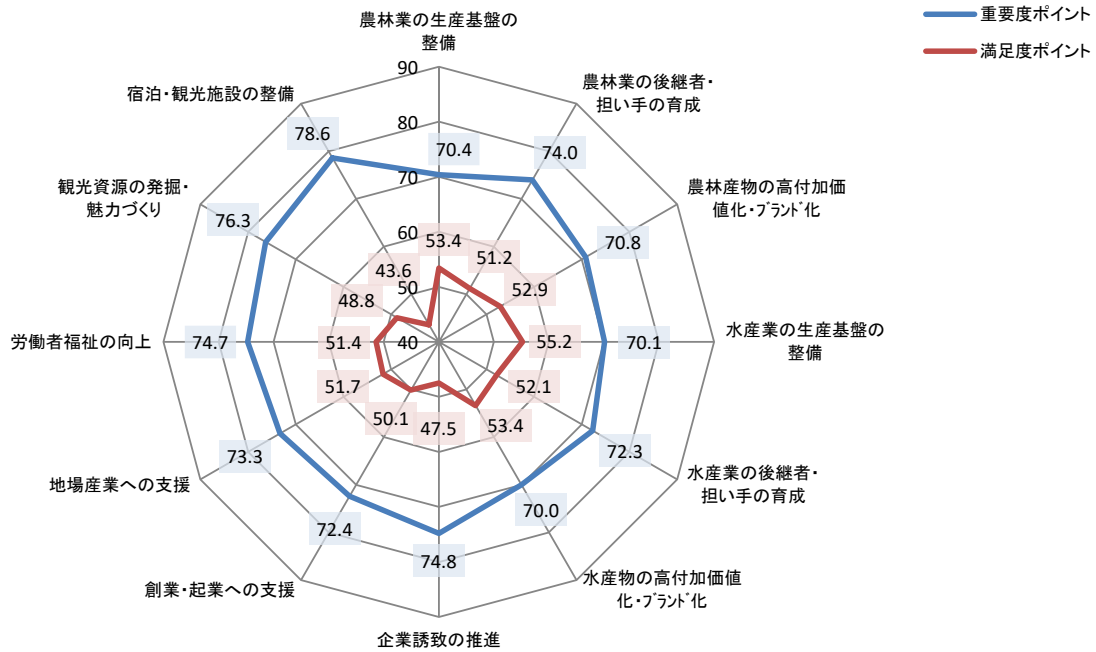


図 江田島町

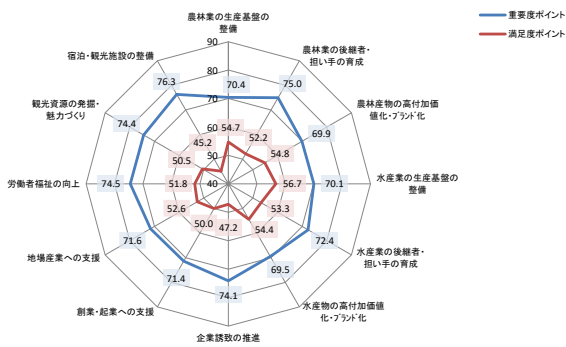


図 能美町

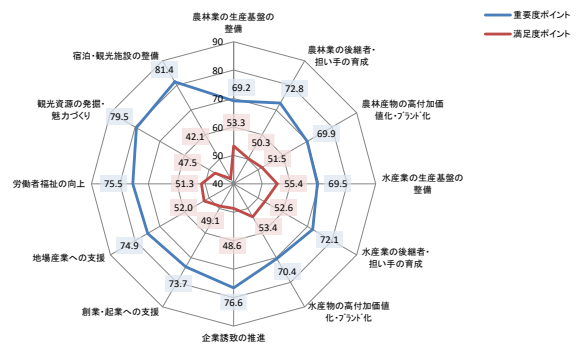


図 沖美町

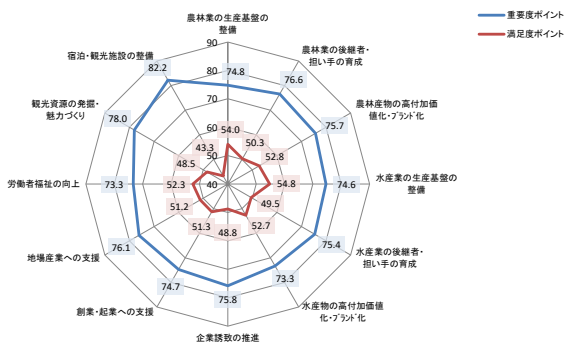
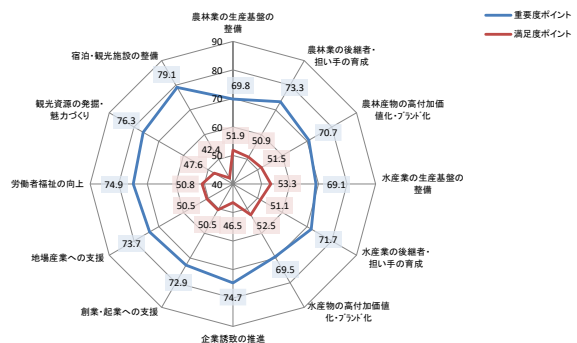


図 大柿町



ウ 福祉・保健

福祉・保健部門の項目別にみると、全体的に重要度ポイントは高くなっています。特に「医療機関の充実」は83.5点と最も高く、また満足度ポイントとの乖離も31.5点と大きくなっています。

図 福祉・保健部門のポイント状況

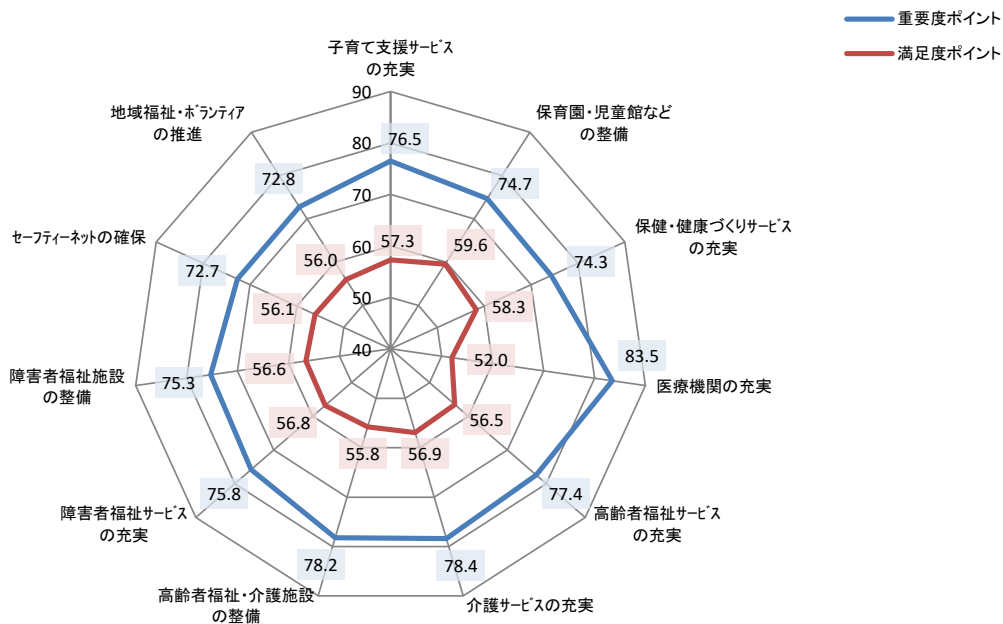


図 江田島町

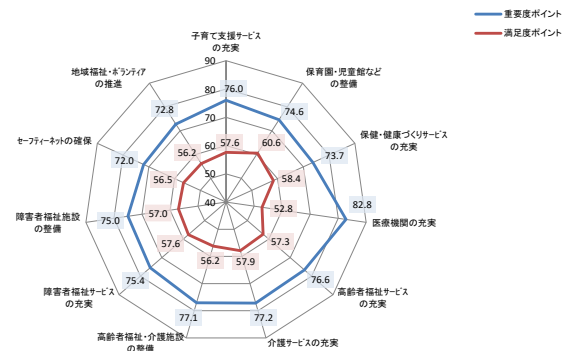


図 能美町

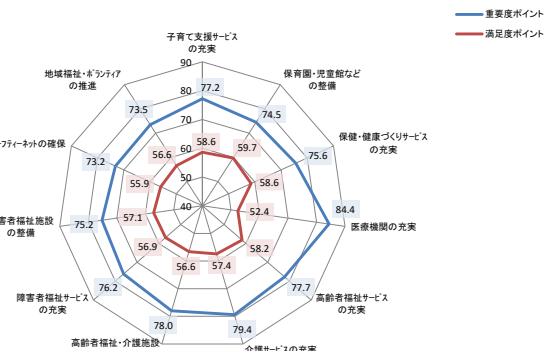


図 沖美町

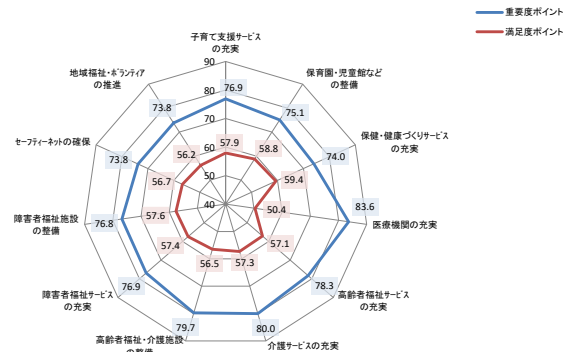
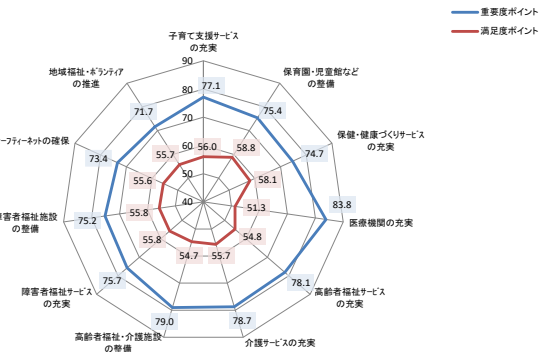


図 大柿町



エ 生活・環境

生活・環境部門の項目別にみると、「自然環境の保全」,「ゴミ対策・リサイクルの推進」など環境系の項目で重要度ポイントが高くなっています。

一方で、「人権尊重の社会づくり」及び「男女共同参画の推進」は重要度ポイントが低く,満足度ポイントとの乖離が小さいなど,環境系と生活系で差が見られます。

図 生活・環境部門のポイント状況

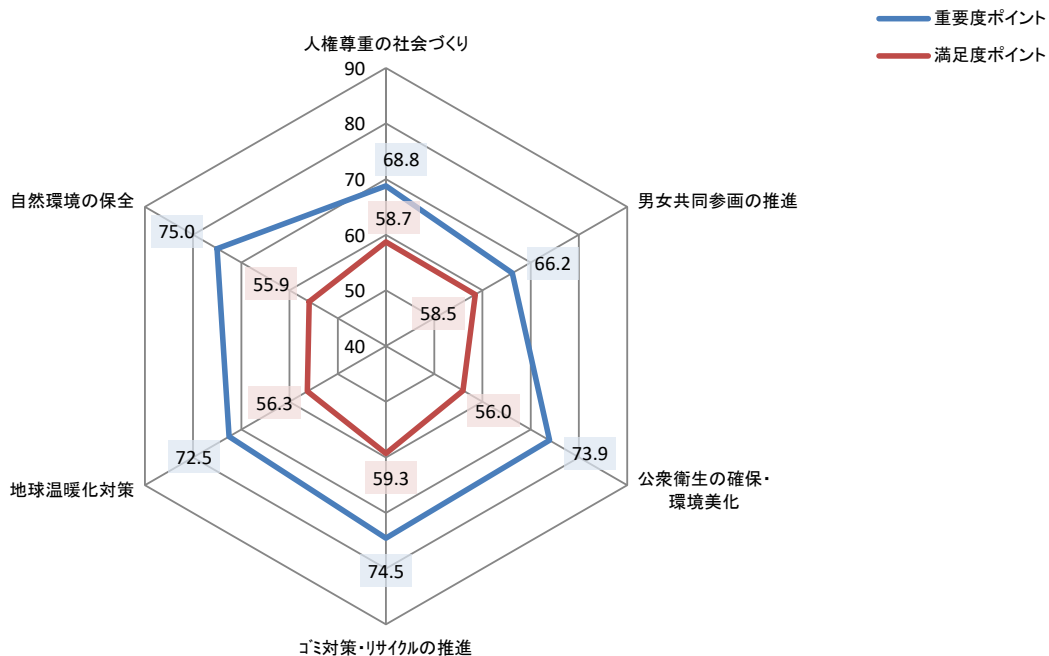


図 江田島町

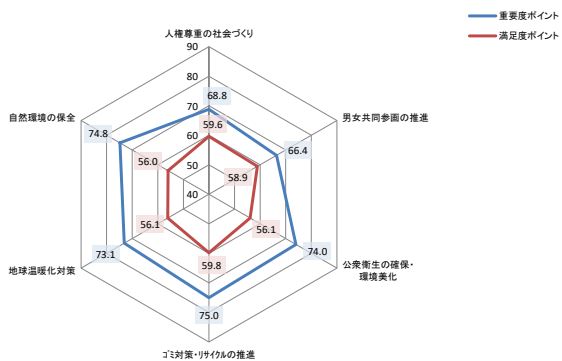


図 能美町

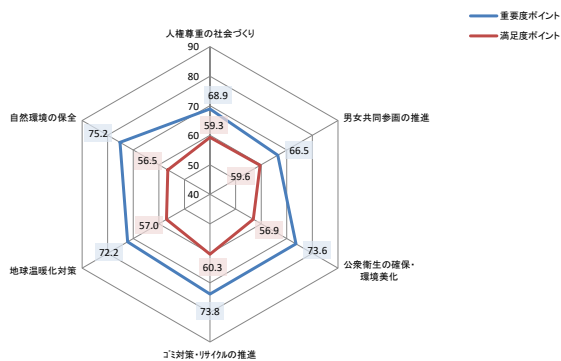


図 沖美町

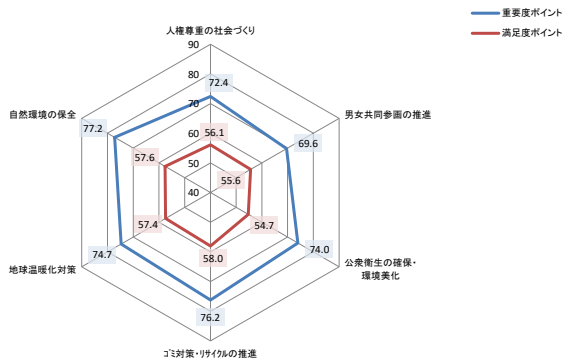
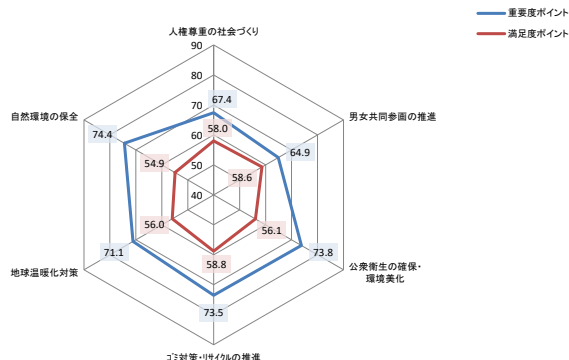


図 大柿町



オ 安全・安心

安全・安心部門の項目別にみると、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」、「救急体制の充実・強化」、「避難所などの整備」などで重要度ポイントが高くなっています。

この中でも満足度ポイントとの乖離が、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」28.0点、「避難所などの整備」24.3点と特に大きく、災害への備えの必要性が指摘されています。

図 安全・安心部門のポイント状況

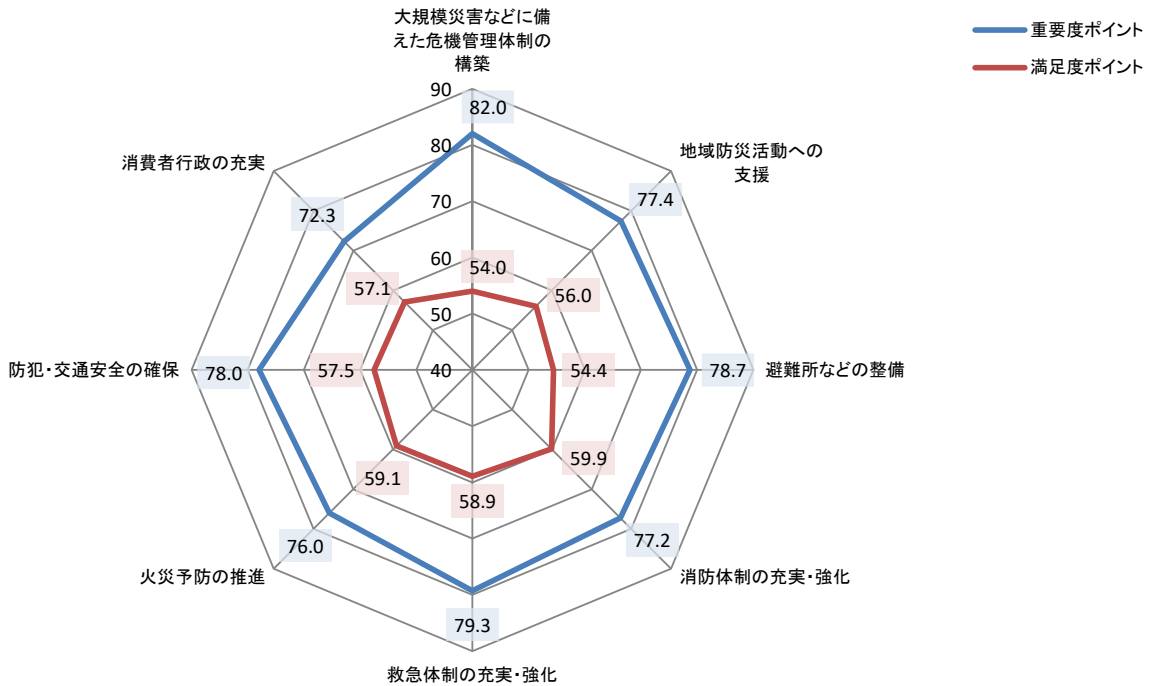


図 江田島町

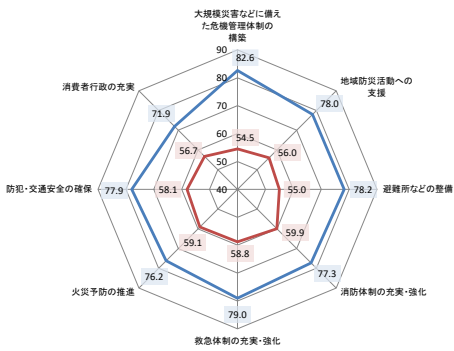


図 能美町

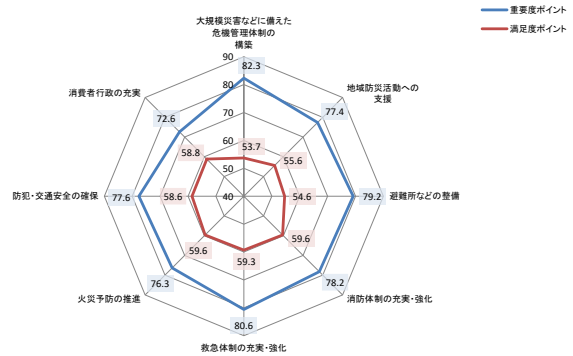


図 沖美町

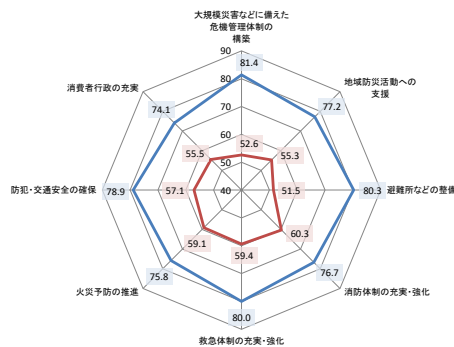
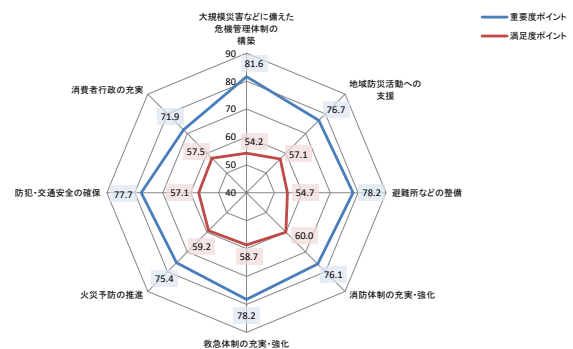


図 大柿町



カ 基盤

基盤部門の項目別にみると、「海上交通の確保」と「バスなどの確保」の重要度ポイントが高いにもかかわらず、満足度ポイントが低い状況にあり、「道路の整備」も含めた交通系で乖離が大きくなっています。また、「防災対策」においても、重要度ポイントと満足度ポイントの乖離が大きくなっています。一方、「公園緑地の整備」や「港湾・漁港の整備」は、重要度ポイントが低く、満足度ポイントとの乖離も小さくなっています。

図 基盤部門のポイント状況

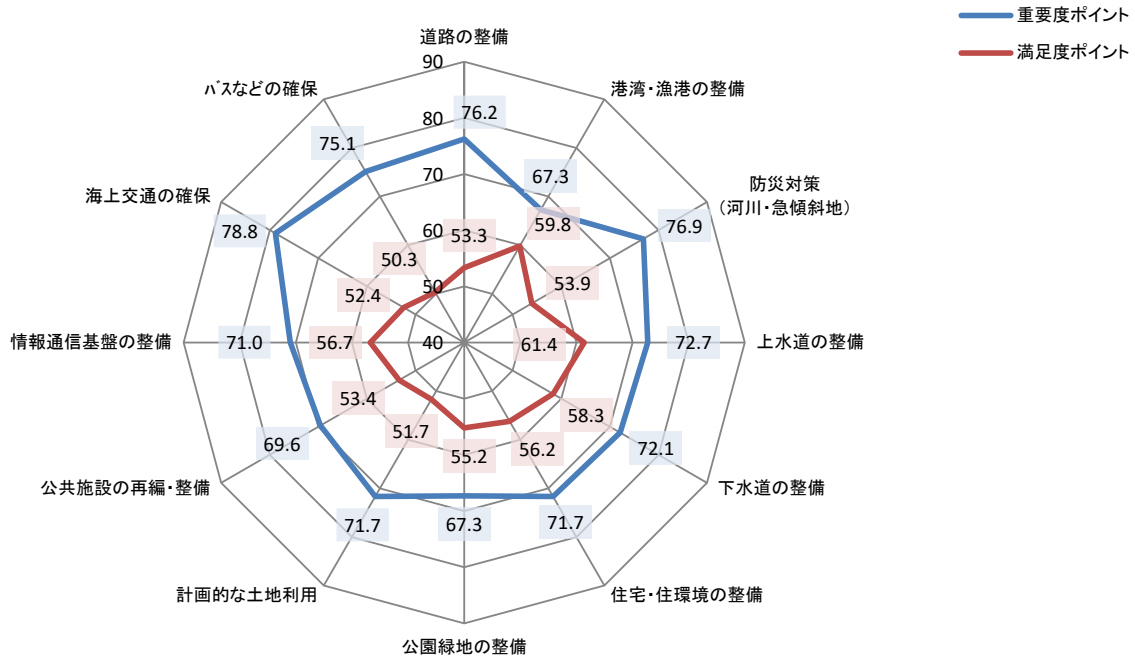


図 江田島町

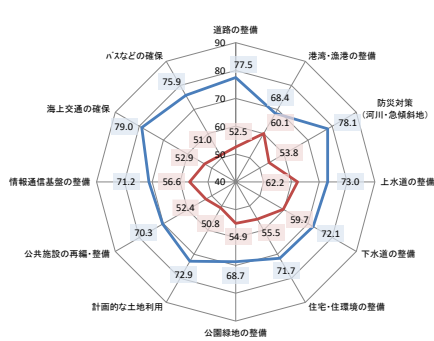


図 能美町

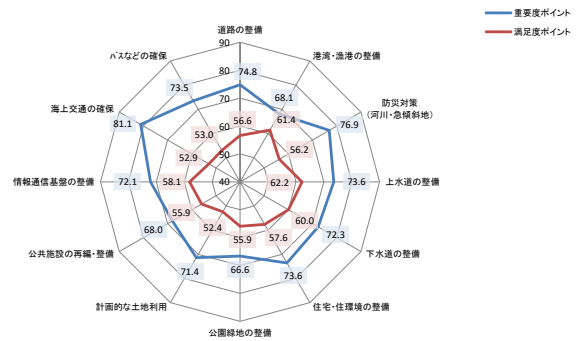


図 沖美町

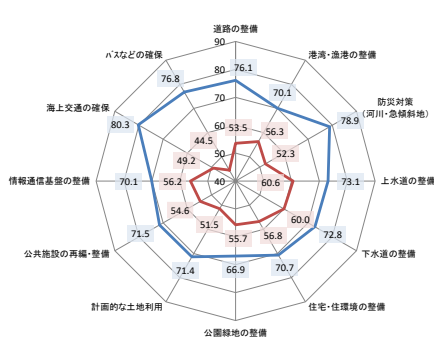
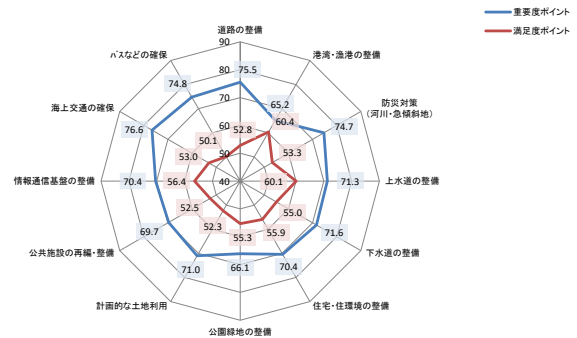


図 大柿町



キ 地域

地域部門の項目別にみると、重要度ポイントが比較的低い項目が多くなっていますが、その中で「定住促進策の推進」は重要度ポイントが72.9点と高くなっています。満足度ポイントは最も低く、乖離が19.8点と大きくなっています。

図 地域部門のポイント状況

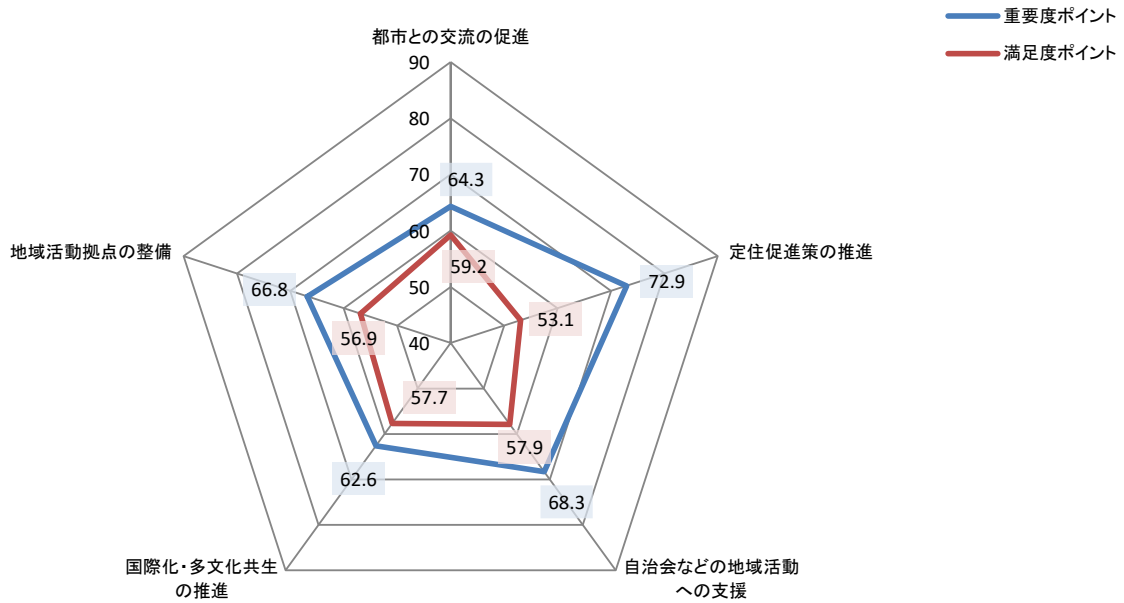


図 江田島町

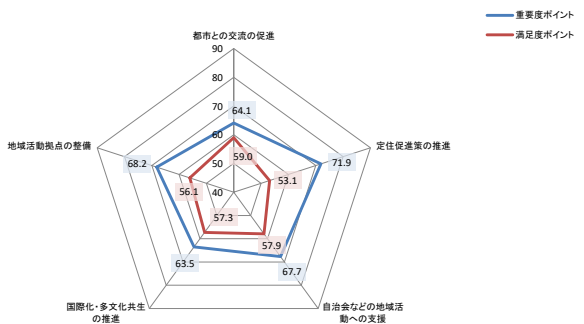


図 能美町

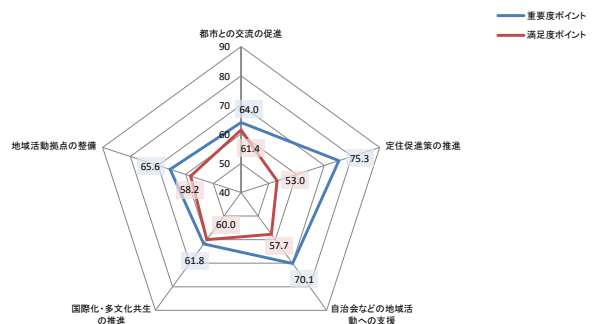


図 沖美町

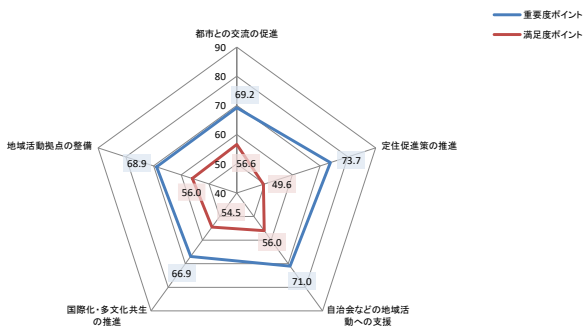
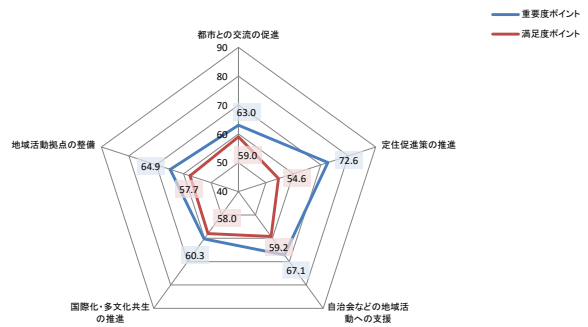


図 大柿町



ク 全般・その他

全般・その他部門の項目別にみると、「市民の意見の把握・反映」の満足度ポイントが52.1点と最も低くなっています。重要度ポイントは全項目で73点を超えています。特に「市民の意見の把握・反映」77.1点、「市役所・市民センターの窓口対応」及び「行財政改革への取組」76.6点が高くなっています。「市民の意見の把握・反映」は、乖離が25.0点と最も高くなっています。

図 全般・その他部門のポイント状況

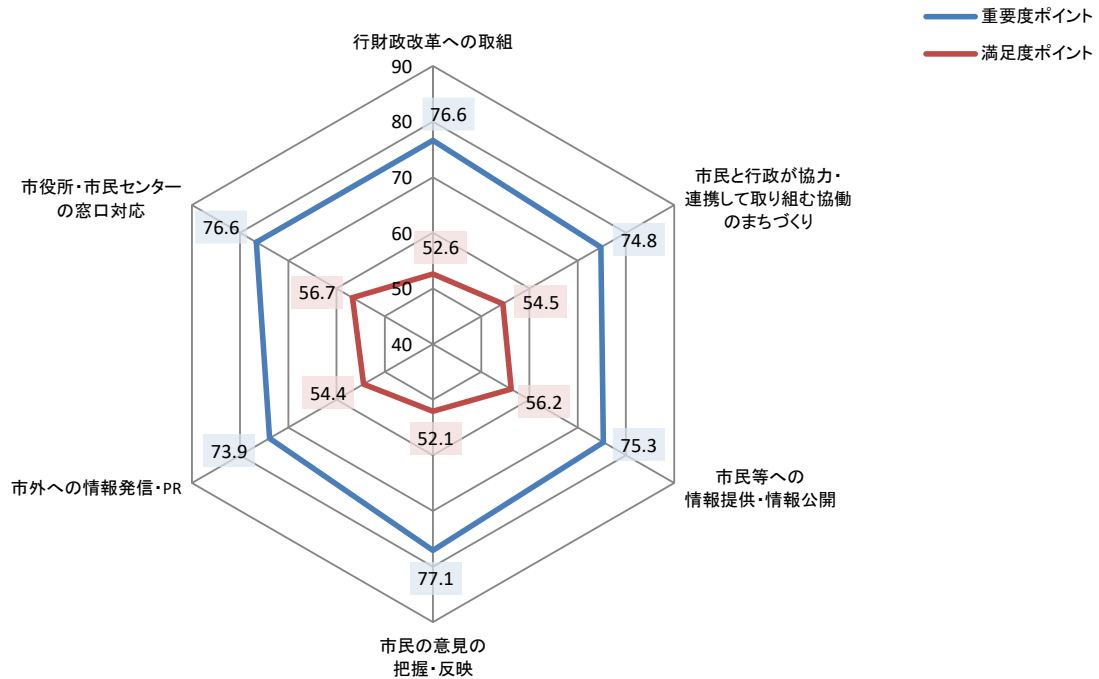


図 江田島町

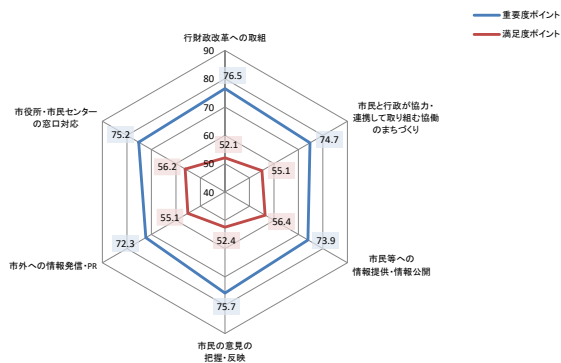


図 能美町

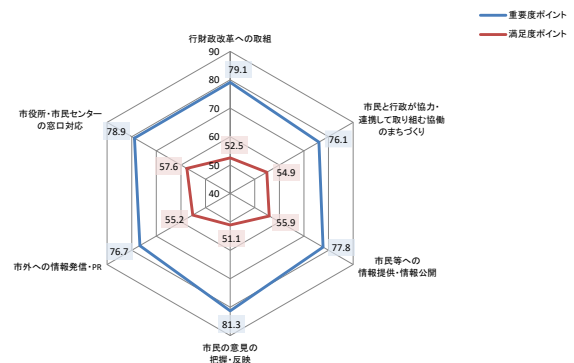


図 沖美町

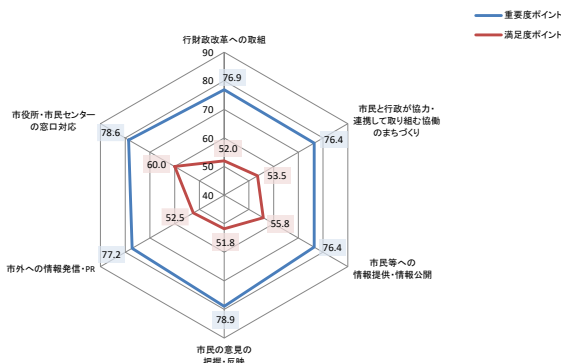
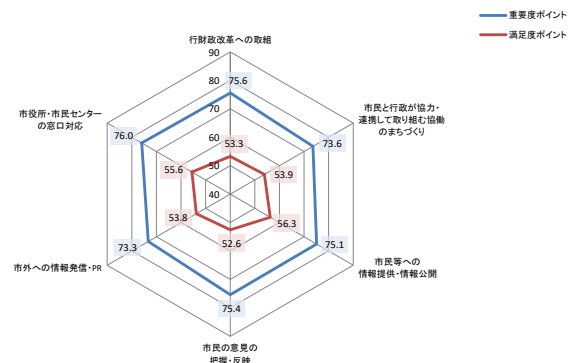


図 大柿町



第4 自由意見

アンケート調査の最後の問いである「3 その他（自由記入欄）」への記載について、記入件数は以下のようになります。

<記載状況>

有効回収調査票 682 票のうち、自由記入欄に記載のあった調査票は 240 票で、記載率は 35.2% となります。居住地別でみると、大柿町に記載率が高くなっています。

表 自由意見の記載状況

区 分	回収数 (票)	記載票 (票)	記載率 (%)
全 市	682	240	35.2
江田島町	260	86	33.1
能美町	134	44	32.8
沖美町	78	24	30.8
大柿町	194	81	41.8
不 明	16	5	31.3

<記載分類>

記載された内容は、1 調査票に複数の意見（内容）がある場合があるため、それらを意見ごとに整理すると、全体で 370 件となります。

記載内容を分類すると、「基盤」が 58 件で最も多く、次いで「産業・観光」が 41 件、「まちづくりの方向」が 40 件などとなっています。

表 自由意見の記載分類

分 類	件 数
教育・文化	14
産業・観光	41
福祉・保健	24
生活・環境	50
安全・安心	25
基 盤	58
地 域	13
アンケート関連	14
広報・宣伝	6
行政サービス	13
行政運営	25
まちづくりの方向	40
現状への評価	28
その他意見等	19
合 計	370